

議会だより すまの

十里木高原展望台

- 予算決算委員会…………… 2～3
- 議案の賛否…………… 4
- 議会活動報告…………… 5
- 一般質問（9人が市政を問う）…………… 6～8
- 官製談合再発防止特別委員会報告…………… 9
- 追跡！あの質問どうなった？…………… 10
- 第5回 議会活動報告会…………… 11

6月定例会

No. 128

平成29年8月1日

発行：裾野市議会

総務

企画部

財政課

第45号議案

平成29年度裾野市一般会計補正予算(第1回)

Q 繰越金46万6千円の歳入減額は、決算の繰越額を見込んでの補正か。

A 決算額は未確定であり、今回は歳入総額の調整として繰越金を減額した。

Q 予備費は当初予算額の約半分を減額しているが、不測の事態にも対応できる額であるか。

A 他に歳入確保が見込めないため、今回は予備費を減額補正するが、機会を捉えて増額補正も検討していきたい。

企画政策課

第45号議案

平成29年度裾野市一般会計補正予算(第1回)

Q 上り線ホームを新設する岩波駅整備事業で、混雑の緩和は可能であるか。

A 現在、上下線が同時に到着し、乗降者が混雑する時間帯があるが、ホームを分けることで混雑が分散されることは明らかである。



岩波駅

総務部

総務管財課

第39号議案

裾野市個人情報保護条例及び裾野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正

Q 改正内容を分かりやすく説明を。

A 条例で定める独自利用事務について、情報提供ネットワークシステムを利用した特定個人情報の提供を可能とする改正である。

反対討論

効果をより一層高めるため、条例の一部を改正としているが、個人情報の保護という法の根本を歪める重大な問題を含んでおり認められない。

賛成討論

市町の個人番号のデータを情報提供ネットワークシステムを介して管理を行うためのもの。当議案が可決、成立しなかった場合、個人番号の取り扱いにおける行政事務に滞りが生じる可能性がある。それは、市および市民にとって損失となる。

環境市民部

危機管理課

第43号議案

裾野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正

Q 加算額の減額は必要なことなのか。

A 政令で定められているものであり、それを条例改正するものである。

Q 消防団員の適正人数を確保するために、減額分を市単独で補う考えはなかったのか。

A 現在、検討はしていない。



消防操法大会

厚生文教

教育部

生涯学習課

第40号議案 裾野市生涯学習センター条例の一部を改正

Q 指定管理導入による職員の増減見込みは。

A 貸館業務と講座の企画運営の部分で2人程度の減となる。

Q コスト面の減額効果は。

A 一例だが、予約システムの統一で年間200万円程を見込んでいる。



生涯学習センター

常任委員会・予算決算委員会で審査

反対討論

①生涯学習や社会教育関連施設の運営は、市民ニーズや欲求の充足のため、行政が市民と共に考えて行ふべきもの。②指定管理期間が決まっている事業者には、講座の企画から運営までを委託することは、この施設に馴染まない。

賛成討論

①今まで生涯学習センターが行ってきた教室や事業などを守りながら、民間ノウハウを活用することで市民サービスの向上が予想できる。②窓口の一元化で空き部屋の有効活用などが図られる。③200万円のコスト削減が試算されている。

鈴木図書館

第41号議案

裾野市鈴木図書館条例の全部を改正

Q 指定管理導入で利用者へのサービス向上はあるか。

A 開館時間の延長を仕様書に盛り込む予定で、市民サービスの向上につながる。

Q 現在、文化センター図書室に司書はいないが、それを維持する方向で良いのか。

A 現在も臨時職員4名で運営しており、司書にこだわらな



鈴木図書館分室

くても現業務の継続は可能である。

反対討論

①図書館は元々指定管理者制度に馴染まない施設。②時間延長が期待でき、現在と同程度の維持ができれば構わないとの説明だが、経費節減のための考えは認められない。③まちづくりや地域の振興、活性化のためには、図書館が核としての役割を果たすことが重要であり、その充実こそ今行ふべき。

賛成討論

①現在の業務や市民サービスを維持できる。②民間のノウハウの活用で更に効果的な施設管理や運営を図るもの。

教育総務課

第45号議案

平成29年度裾野市一般会計補正予算(第1回)

Q 東中昇降口棟地震改築工事費で2,420万円増の内訳は。

A 基礎工事950万円、解体工事450万円、諸経費660万円の増が主なもの。



東中学校昇降口

健康福祉部

子育て支援課

Q 西小第二放課後児童室の開設で待機は全て解消されるか。

A 4月時点で17人の待機があったが、希望する12人全員を受け入れるので解消される。



西小学校第二放課後児童室

産業建設

建設部

建設管理課

第45号議案

平成29年度一般会計補正予算(第1回)

Q 東名跨道橋補修工事委託費6,500万円の繰越明許費で、工事は緊急を要さないのか。

A 平成26年度の定期点検の診断に基づき修繕を実施している。診断は6橋の内、3橋が早期措置段階、3橋が予防保全段階になる。今回対応する橋梁は、予防保全段階の内の2橋が対象になる。



東名跨道橋補修工事

議案の賛否

※すべての議案を掲載していますが、賛否の分かれた案件のみ賛否の一覧を掲載しています。
 ※議長（二見榮一）は採決には加わりません。

※賛成は○、反対は●で表記しています。

| 議員名 議案内容 | 岩井 | 中村 | 井出 | 村田 | 廣瀬 | 小田 | 杉山 | 佐野 | 三富 | 二ノ宮 | 勝又 | 杉本 | 賀茂 | 芹澤 | 増田 | 岡本 | 小林 | 内藤 | 杉本 | 土屋 | 二見 | 結 果 |
|-------------|--|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----------------|
| | 良枝 | 純也 | 悟悠 | 悠博 | 主博 | 圭介 | 茂規 | 利安 | 美代子 | 善明 | 明 | 平治 | 博美 | 邦敏 | 喜代子 | 和枝 | 俊 | 法子 | 和男 | 秀明 | 榮一 | |
| 第39号議案 | 個人番号のデータを情報提供ネットワークシステムを介して管理を行うため、個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正を審議 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 原案可決 (賛成多数) |
| | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 第40号議案 | 生涯学習センターの施設管理および運営などに指定管理者制度を導入出来るようにするための、生涯学習センター条例の一部改正を審議 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 原案可決 (賛成多数) |
| | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 第41号議案 | 市民文化センターの施設管理および運営などに指定管理者制度を導入出来るようにするための、鈴木図書館条例の全部の改正を審議 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 原案可決 (賛成多数) |
| | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 報第2号 | 平成28年度内に事業が完了せず、これに伴った経費の支出が年度内に完了しない見込みのため、当該予算を次年度に繰越すことを了承 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 了 承 |
| 報第3号 | 平成28年度内に執行したが、補償対象物件の移転施工方法の決定に不測の日数を要したことから、年度内に支出が完了しないため、当該予算を次年度に繰越すことを了承 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 了 承 |
| 報第4号 | 介護保険特別会計事業で、平成28年度に事業が完了せず、これに伴った経費の支出が年度内に完了しない見込みのため、当該予算を次年度に繰越すことを了承 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 了 承 |
| 報第5号 | 水道事業が平成28年度内に完了せず、これに伴った経費の支出が年度内に完了しない見込みのため、当該予算を次年度に繰越すことを了承 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 了 承 |
| 報第6号 | 裾野市土地開発公社の経営状況を報告書で確認・了承 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 了 承 |
| 報第7号 | 一般財団法人裾野市振興公社の経営状況を報告書で確認・了承 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 了 承 |
| 報第8号 | 公務中の交通事故以外の事故で生じた損害賠償を、市長が議会の承認を経ずに市長権限で決めたことを、確認・了承 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 了 承 |
| 報第9号 | 公務中の交通事故で生じた損害賠償を、市長が議会の承認を経ずに市長権限で決めたことを、確認・了承 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 了 承 |
| 承認第1号 | 地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律（平成29年3月31日）の公布に伴う市税条例の一部改正を、議会招集の期間が無かったため、市長が議会の承認を経ずに市長権限で決めたことを、確認・承認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 承 認 |
| 承認第2号 | 地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律の公布に伴う市都市計画税条例の一部改正を、議会招集の期間が無かったため、市長が議会の承認を経ずに市長権限で決めたことを、確認・承認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 承 認 |
| 承認第3号 | 外国居住者の所得に対する相互主義による所得税等の非課税等に関する法律および地方税法施行令の改正に伴い、市国民健康保険税条例の一部改正を、議会招集の期間が無かったため、市長が議会の承認を経ずに市長権限で決めたことを、確認・承認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 承 認 |
| 第37号議案 | 市固定資産評価審査委員の任期満了に伴い、次期委員を審議 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 同 意 |
| 第38号議案 | 農業委員会等に関する法律の改正に伴い、新たな農業委員を審議 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 同 意 |
| 第42号議案 | 工場立地法の一部改正に伴う、市工場立地法に基づく準則条例の一部改正を審議 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 原案可決 |
| 第43号議案 | 非常勤消防団員等に係る損害賠償の基準を定める政令の一部改正に伴い、市消防団員等公務災害補償条例の一部改正を審議 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 原案可決 |
| 第44号議案 | 市道路線の変更を審議 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 原案可決 |



| 議員名 議案内容 | 岩井良枝 | 中村純也 | 井出悟 | 村田悠 | 廣瀬主博 | 小田圭介 | 杉山茂規 | 佐野利安 | 三富美代子 | 二ノ宮善明 | 勝又明 | 杉本平治 | 賀茂博美 | 芹澤邦敏 | 増田喜代子 | 岡本和枝 | 小林俊 | 内藤法子 | 杉本和男 | 土屋秀明 | 二見榮一 | 結 果 |
|-------------|---|------|-----|-----|------|------|------|------|-------|-------|-----|------|------|------|-------|---------------------------|------|------|------|------|------|-----|
| 第45号議案 | 平成29年度裾野市一般会計補正予算（第1回） | | | | | | | | | | | | | | | 本年度執行中の事業の追加・変更に伴う補正予算の審議 | 原案可決 | | | | | |
| 第46号議案 | 平成29年度裾野市国民健康保険特別会計補正予算（第1回） | | | | | | | | | | | | | | | | 原案可決 | | | | | |
| 第47号議案 | 平成28・29・30年度 学校施設環境改善交付金事業 裾野市立深良中学校校舎（①-1棟、①-2棟）耐震・防水改修工事の建設工事請負契約の締結を審議 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 原案可決 | |
| 議員提出議案第4号 | 県内市町議会議員研修会に議員全員の派遣を審議 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 原案可決 | |

※議会基本条例の第9条第2項の規定に基づき、各議員の意思表示を議会だよりで公表しています。

議会活動報告

第22回2市1町(御殿場、小山、裾野) 議員研修会 (平成28年11月17日)

年に1回のペースで開催。昨年度は「議員に求められる質問力」と題し、三重県地方自治研究センターの高沖秀宣氏に講和いただき、意見を交わしました。議会事務局として議員の研究に実直に係ってきた話もあり、質問における研究の深さに対する意義も学ぶことができました。



裾野市部課長会議 (平成29年1月20日)

「土地利用に関する基礎知識について」と題し、静岡県担当局の班長を講師とし、①都市計画、②農地利用を学びました。国から地方に権限委譲される中、県から市に移譲されているものもあります。何が要望事項で、何が実行力か。当市ができることも含みつつお話いただいた講演会でした。



「IT利活用促進に向けた提言」を市長へ提出 (平成29年4月5日)

行政サービスを充実させるため国が積極的に取り組んでいるITの利活用を当市も早急に取り組むよう提言致しました。



一般質問

教育



質 英語検定の受験推進の方策として、英語検定の受験料の助成に対する見解は。
(三富美代子)

答 日常の授業の充実、英語教育に力を入れる上で、英語検定が英語教育を振興させるための一つの方法であると考えている。



ALT 授業風景

質 貧困の連鎖からの脱却のために、給付型の奨学金などの創設は考えられないか。
(二ノ宮善明)

答 現行の（無利息の貸与型）奨学金制度を維持していく。

質 国は教員勤務実態調査で、教職員の過重労働警告を発したが、当市の小中学校教師の超過勤務の実態は。
(内藤法子)

答 過労死ラインと言われる 80 時間を超えている職員は小学校 19 人 9.9%。中学校 37 人 30.3%いる。

質 中学校部活動に対応した超過勤務が多いが解決に向けた努力は。
(内藤法子)

答 外部指導者を 25 人派遣し、負担軽減を図っている。

質 国の調査では、性的マイノリティー（LGBT ※）は 7.6% 存在する。学校でのいじめや登校拒否など問題行動につながるとの指摘があるが、必要な配慮は。
(内藤法子)

答 市内の事例は無いが、国が発行した冊子で教職員の理解を深め、関係機関との連携で子どもの実情に応じ柔軟に対応していく。

質 特別支援教育の対象とされている幼児・児童生徒状況と、インクルーシブ教育に対する考え、課題は。
(賀茂博美)

答 昨年度の公立幼稚園・保育園では 71 人、小学校 211 人、中学校 72 人である。インクルーシブ教育では、早期から本人、保護者の意向を最大限尊重し、教育ニーズと支援について合意形成に努めている。個別の事情に適切な対応が十分出来ているかが課題である。

質 県知事に、特別支援員の配置支援と、通級教室拡充の要望書を市長自ら申し入れる考えは。
(賀茂博美)

答 この問題に限らず、全庁的にしっかりと申し入れるべきことは申し入れていくつもり。

まちづくり



質 定住・移住を促進するために、今後さらに必要となる方策は。
(三富美代子)

答 移住を希望される方々が、住み心地を体験することは重要であり、方策として効果的であると考えている。

質 裾野駅東口駅前広場の整備手法の検討委託の詳細は。
(岡本和枝)

答 駅東口への実現性があるアクセス道路の検討。駅東口の乗降客数や送迎などの停車台数の調査結果に基づき、必要な施設や規模を算定し計画図を今年度中に作成する。



裾野駅東口の様子

質 十里木別荘地内にある町内会と市の関わりは。
(岩井良枝)

答 自治会運営などの相談があった際には市民課の地区振興係が助言、情報提供、関係する各課への橋渡しなどを行っている。

※ LGBT: レズ、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字から創られた頭字語

一般質問

質 全国で自治会加入率が減少し、当市でも行政区への加入率が減少傾向にある。今からしっかり考える必要があると思うが。（岩井良枝）

答 地域の横のつながりは非常に大切なことなので、今後も区運営に対し、協力をしていく考えでいる。

質 市道の維持管理は、国道や県道の様なレベルでの維持管理、修繕を行っているか。（杉山茂規）

答 山間部の市道では、そこまでの維持管理は出来ていない。

質 土砂崩れの危険性やその報告がある山間部の市道で、対策を取らずにいた場合は、市に瑕疵がある。事故が発生した場合は市に賠償責任が生じる認識はあるか。（杉山茂規）

答 事故が発生した場合は、市に瑕疵があるとは考えている。

質 茶畑山岳委員会は以前から自主財源で市道の舗装工事を行っているが、財源不足などで限界にきている。国の林道整備補助金の活用や、団体の活動に対する補助金なども含め、検討を行ってはどうか。（杉山茂規）

答 全体として使える特定の財源があれば、十分に検討しなければならない。林道は受益者があって成り立つものなので、バランスを取りながら考えていく。

質 今後、コミュニティプラントを設置している地域の区民に対して、情報提供をするとともに、区民の生活環境の整備、環境衛生の向上への支援などを含めて、寄り添った対応を行うか。（二ノ宮善明）

答 不安に寄り添い、一緒に問題解決に向けての取り組みをしていきたいと認識した。



コミュニティプラント

質 市民の情報提供で、黄瀬川の護岸工事に合わせた河川公園整備の提案が県からあった際に、市が断ったと伺っているが。（井出悟）

答 市が公園整備を断った事実はない。

質 新火葬施設は平成33年度の利用開始を目指している。新火葬施設の施設計画案に対しパブリックコメントが必要では。（岡本和枝）

答 新火葬施設整備事業は、本年4月1日から裾野市長泉町衛生施設組合が実施主体となった。計画案に対し意見を聞くことは、組合や長泉町と調整しながら検討する。

質 新火葬施設の整備基本調査では、今後直葬や家族葬のような葬儀の小規模化、簡素化が進む傾向にある。市民ニーズに向き合うなら安置室が必要ではないか。（岡本和枝）

答 新火葬施設整備は、火葬時のお見送り施設として充実を図ることを基本方針としている。安置施設の設置は想定していない。

質 岩波駅バリアフリー化で、下りホームに屋根の設置がされないことは大きな問題と考える。多くの方に利用してもらうために、屋根設置は不可欠であると考えている。（岩井良枝）

くらし



質 高齢者運転免許自主返納時に申請できる運転経歴証明書は、永年の身分証明書となる。交付手数料の助成はできないか。（二ノ宮善明）

答 交付手数料の助成を、今年度中の実施に向けて準備を進めている。



運転経歴証明書

一般質問

答 屋根が1両半分しかないことは課題として捉えている。屋根部分はバリアフリー化の対象ではないというのが、JRの答え。設置費用を、全額市負担であればJR東海も考慮するというのがスタンス。構造上非常に多額の費用を要し、設置を断念せざるを得なかった。

組織・体制



質 執務コストの徹底した削減が無く、公用車の配置や運用改善に取り組んでいないのは、組織のコスト意識が希薄だからではないか。（井出悟）

答 総務管財課を中心に維持管理コストの低減に取り組んできた。しかし、各課の部分最適の考え方を考える事が出来ず現在に至り、公用車の適正台数に向けた取り組みが進んでいない。



公用車駐車場

質 市民に痛みを伴った歳出抑制の取り組みをお願いしている以上、執務コストの徹底した削減と、組織の意識向上を目指す事は当然の責務。改善に向けた今後の対応は。（井出悟）

答 データに基づいた指摘からも、公用車の通常使用では過多と思われる。民間企業で研修した職員を中心に、問題解決手法を用いて、運用方法の改善による効率化を進めていきたい。

質 事業の効率化を図るために、事業を細分化し相互関係を理解しやすくする方法の1つにネットワーク工程表による事業管理がある。これを利用していく考えは。（廣瀬主博）

答 ネットワーク工程表と趣旨は同じかと思うが、今行っている事務をより細分化して工

程管理をするといった手法を、人事関係の研修で行っている。提案の全てを実施する事は難しいが、重要な事柄、特に進捗管理を必要とする事柄は、提案のような趣旨を取り入れていかなければならないと考えている。

文化・観光



質 歴史遺産の学術調査を、今後行う検討はされているか。（廣瀬主博）

答 深良用水は、^{すいどう} 隧道近くにある息抜き穴の内部の撮影などできないかと調査方法、費用などを現在検討している。今年度現地に赴き、息抜き穴の状況や関係地権者などの調査を進めている。

質 当県で開催が決定した、日本最大の観光キャンペーンは当市PRの絶好の機会と考えるが、取り組みへの考えは。（賀茂博美）

答 現在県の観光交流局を中心に各地区で説明会が開催されている。当市も市内各地で開催される、お花まつりや世界遺産を含めた企画などを強く提案していきたい。



観光キャンペーン

子育て



質 子ども医療費助成制度の対象者を、18歳まで拡大することの見解は。（三富美代子）

答 有効な子育て支援策と考える。実施方法や、時期、助成などに係る費用、医療機関との調整、窓口対応や事務量、他市町の取り組みなど、研究・検討を進めていく。

官製談合再発防止特別委員会 報告

再発防止策（8件）を市に提言（提言と市からの回答の一部を紹介します。）

（ア）官製談合に関する原因究明調査の実施

提言 当事者または当時の業務関連担当職員に対しヒアリングを実施し原因の究明を明確にし、再発防止策に役立てるべきである。

回答 各所属にコンプライアンス推進担当者を設置し、定期的に各所属でコンプライアンスに対する意見交換を実施するなど、コンプライアンスの徹底を図っている。今後は、報告書としてまとめた再発防止策に基づいて取り組んでいく。

（イ）職員の定期的な人事異動、徹底した人事評価

提言 専門職の積極的な雇用に取り組むとともに、職員の定期ローテーションも確実に行うべきである。また、すべての部署において徹底した人事考課をベースに、昇格や降格を行うなど厳さを前面に出す人事評価をすべきである。

回答 昇格や降格への評価結果の反映は、地方公務員法にも規定されており、人事評価自体は、ある程度の厳しさを持って行うべきであると考えるが、昇格や降格への反映は、今後、適切な時期に判断していく。

（ウ）内部告発体制の整備・強化

提言 部署の内外にてコンプライアンスに反する行為が認められるときは、早期発見と早期対応が肝心である。特に談合情報等に対し更なる制度の周知、徹底、及び市のトップである市長へ直通で届く体制に整備・強化していくべきである。

回答 倫理ヘルプラインを内部通報窓口を設置し、匿名での通報も可能とすることや市長、副市長へ直通で届く体制を整備していく。

（エ）不正行為に対する罰則強化

提言 不適格業者の排除に向けた指名停止措置は、現状に合った罰則期間の強化を図ること。また、職員が市に対し実質的損害を与えた場合、市は明確に損害賠償を求めるべきである。

回答 入札参加指名停止等措置要綱は、平成16年以降未改正であったため平成28年4月に全部を改正した。

損害賠償を職員に求めることに関しては、未払い事件で対応したとおり、職員が市に損害を与えたと判断した場合は、法令に基づいて対応していく。

今後も特別委員会を継続させ、引き続き
市の取り組みを監視・チェックしていきます。



追跡! あの質問どうなった?

第4回

第4回 「追跡!あの質問どうなった?」を掲載します。
今回は景ヶ島公園公衆用トイレを取り上げます。

景ヶ島公園に公衆用トイレが新設されました。

景ヶ島公園の公衆用トイレは、県の観光施設整備事業費補助を受け、昭和 60 年に設置されました。しかし、平成 23 年 9 月の台風 15 号で一部地盤が崩落し、平成 26 年 5 月に閉鎖され駐車場に仮設トイレが設置されました。

その後、取り壊しについて、県と協議、平成 27 年 7 月 2 日に財産処分報告が受理され、同年 8 月 20 日に撤去されました。市民からトイレの再設置が要望されていました。



撤去されたトイレ



閉鎖時、崩落した地盤の様子

一般質問 平成27年 9月定例会

質 8月20日にトイレが撤去されたが、観光地としてきちんとするためにも、公衆用トイレの新たな設置の考えは。

答 新しいトイレの設置は、極力早くしたいと思っている。県の補助事業などを充てていきたいと考えている関係上、県とも協議しなければならない。出来上がった後の管理などについても検討中である。

平成 28 年度観光施設整備事業費補助を受け、設置場所を、景ヶ島交差点北側、駐車場付近に変更の上、工事が始まりました。バリアフリー化されたトイレで、安全に利用できるようになりました。完成後も 2 台の駐車スペースは確保されています。



景ヶ島交差点からの写真



建設中の景ヶ島公園公衆用トイレ

第5回 議会報告会を開催しました ～参加者数合計29人～

裾野市議会では議会基本条例に基づき、5月13日に裾野市役所4階会議室で議会報告会を開催しました。第一部では平成29年度当初予算審査の概要説明の後、質疑・応答しました。また第二部では委員会ごとに分かれてワークショップを行い、「人口減少を乗り越える市民提案策（総務）」、「世代間交流のある地域づくり（厚生文教）」、「公園のあり方（産業建設）」をテーマに意見交換しました。参加者アンケートの結果をご報告します。

【ご意見やご感想】24人からいただきました。

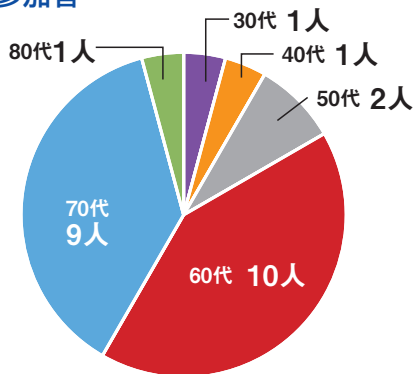
- 仕事の関係で土日しか参加できないので今回の曜日設定は良いと思う。議会と市民の接点や距離が近くなると思う。
- 開始時間をもう少し考えてほしい。誰でも参加が可能とするなら、女性が参加しやすい時間を考えてほしい。
- 金額の大小より、目的や効果がどうかを意見交換したい。
- 議会報告会とは思えないような画期的でとても楽しいワークショップだった。議員と市民が同じテーブルで裾野市を直接考えられてすごいと思った。これがどのように計画や事業となっていくのか市民として見ていくのが楽しかった。
- ワークショップでの話し合いは意見が出しやすい。各委員会別にテーマを決めて行った形式は良かったと思う。もう少し時間が欲しい。

- 抽象的で難しく捉え所がない「公園のあり方について」というテーマを進めてもらい、思考の整理が出来た。これを通じ、市民が必要とする機能・目的と、行政の考える面積など、目指す指標に大きな乖離があることが分かった。
- 一人の考えでは見えないものが見えた気がした。求めるものの一本化は難しい。
- 議員との話を楽しみにしている。これからも続けてほしい。

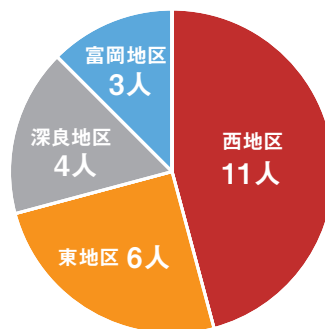


◀ワークショップの様子

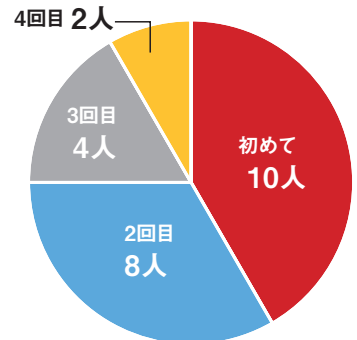
■ 参加者



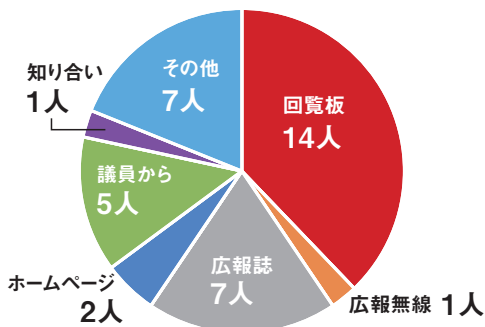
■ お住まいの地区



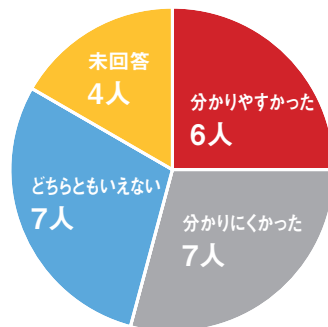
■ 報告会参加回数



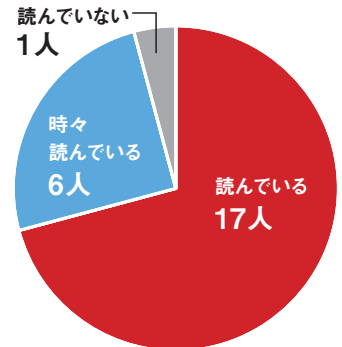
■ 報告会を何で知ったか(複数回答)



■ 議会報告の内容について



■ 議会だよりを読んでいるか



ご参加、ご意見をいただきありがとうございました。
いただいたご意見を参考に開かれた議会を目指していきます。

.....議会を傍聴してみても.....

以前と同じ質問に、同じ答弁があった。
傍聴して、新しい考え方などを聞きたかった。
話はわかりやすかった。

60代・女性

議員の質問の追及度が弱いと感じる。答
弁の不備、不足をもっと追い込まなければ、
質問した意味がなく、単に行政の取り組み
にお墨付きを与えているにすぎない。

60代・男性

議事の進行について、質問通告書にそっ
た形ですすめられていて、それにしぼられ
ている感じが強い。議会運営上合意されてい
るかもしれないが、通告書どおりでない
と質問できないのでは、議会のあり方として
不自然だと思う。

60代・男性

質問者と答弁者の、意識の差を感じまし
た。

70代・男性

6月定例会の傍聴者は**64人**でした。
ご意見・ご感想ありがとうございました。

お詫び と 訂正

議会だより3月定例会号の4ページ、統括質疑1つめのQで、シビックプライド関連事業
説明部分「36事業2,020万円」とありますが、「36事業2億200万円」の誤りでした。
訂正してお詫びいたします。

議会傍聴にお越しく下さい

平成29年9月定例会(内々定) ※予定は変更する可能性があります。

| | | | | | | | | |
|-------|---|----------------------|--------|-------|-------|----------------------|--------|----------------------|
| 8月28日 | 月 | 本会議 | 10:00～ | 9月11日 | 月 | 予算決算委員会 | 13:30～ | |
| 8月30日 | 水 | 本会議 | 10:00～ | 9月12日 | 火 | 予算決算委員会 | 9:00～ | |
| | | 予算決算委員会 本会議終了後 | | 9月13日 | 水 | 予算決算委員会 (産業建設分科会) | | |
| 9月1日 | 金 | 予算決算委員会 (産業建設分科会) | 9:00～ | 9月14日 | 木 | | 10:00～ | |
| | | 産業建設委員会 | | | 9月15日 | 金 | | 本会議 |
| 9月4日 | 月 | 予算決算委員会 (総務分科会) | 9:00～ | 9月19日 | 火 | 予算決算委員会 | 9:00～ | |
| | | 総務委員会 | | | 9月20日 | 水 | | 予算決算委員会 (総務分科会) |
| | | | | | 9月21日 | 木 | | |
| 9月5日 | 火 | 予算決算委員会 (厚生文教分科会) | 9:00～ | 9月22日 | 金 | 予算決算委員会 | 9:00～ | |
| | | 厚生文教委員会 | | | 9月25日 | 月 | | 予算決算委員会 (厚生文教分科会) |
| | | | | | 9月26日 | 火 | | |
| 9月6日 | 水 | 予算決算委員会 (現地視察) | 13:30～ | 9月27日 | 水 | 本会議 (一般質問) | 10:00～ | |
| 9月7日 | 木 | 本会議 (代表質問) | 10:00～ | 9月28日 | 木 | | | |
| 9月8日 | 金 | | | 9月29日 | 金 | | | |
| | | | | 10月2日 | 月 | 予算決算委員会 | 13:30～ | |
| | | | | 10月4日 | 水 | 本会議 | 10:00～ | |

市役所5階の議会事務局で簡単な手続き(名前と住所の記入)を行えば、議会傍聴することができます。
市役所1階のモニターでも本会議の様子をご覧いただけます。

編集委員

- 委員長.....
杉山 茂規
- 副委員長.....
岩井 良枝
- 委員.....
廣瀬 主博
村田 悠
井出 悟
中村 純也

議会をチェック!!

裾野市議会 検索

